

「火災から命を守る避難の指針」の策定について

昨年7月、伏見区桃山町で発生した火災において、発生時に建物内にいた全70人（被疑者除く。）の、避難行動の分析・検証結果を踏まえた、「火災から命を守る避難の指針」（以下「指針」という。）を策定しましたので、概要を次のとおりお知らせします。

1 指針策定の目的

指針は、この火災の避難者の方々等への聴き取りで得た貴重な教訓を基に作成したもので、指針を踏まえた対策や実践的な訓練（図上訓練含む。）を行うことで、火災発生時に事業所や個人、更に市民が、能動的に力強く行動できる知恵や行動力を備え、火災から命を守ることを目的とする。

2 指針の構成

火災発生時の避難行動の分析・検証を実施

火災から命を守る避難の指針
(7項目の「指針」に、11項目の「知恵」で構成)

3 避難行動の分析・検証結果

階別	主な避難行動
1階の在館者	・ 1階の女子トイレに逃げ込み、外部から救出
2階の在館者	・ 2階ベランダから飛び下り又は同ベランダに架けられたはしごを下りて避難
3階の在館者	・ 2階に下り、2階ベランダから飛び下りて避難 ・ 2階に下り、2階北側窓から飛び下りて避難 ・ 3階の屋内階段室の窓から屋外に出て、建物北西角に架けられたはしごを下りて避難

4 火災人命危険レベルの設定

火災人命危険レベル	火災人命危険状況	主な避難行動の例
レベル1	階段に煙がなく使用可能な状況	階段を利用して地上、下階へ避難 ○ 階段が複数ある場合は、煙が流入していない階段を選択して避難
レベル2	階段が煙により使用できない状況	階段以外からの避難等 ○ 窓、ベランダ等、外気に触れる場所への避難（救助を求める） ○ 窓、ベランダ等から避難器具での避難 ○ 一時避難スペースへの避難、待機（救助を求める）
レベル3	階段及びフロア全体に煙が流入し、避難者自身が煙に覆われ危機的な状況	煙に覆われた状態からの脱出 ○ 身を低くして最小限の呼吸で、冷静に避難 ○ 光や壁を頼りに窓、ベランダ又は直近の一時避難スペースを検索、避難 階段以外からの避難等 ○ 窓、ベランダ等から避難器具での避難 ○ 一時避難スペースへの避難、待機（救助を求める） ○ 窓、ベランダ等から、ぶら下がり避難（2階に限る）

5 火災発生に伴う基本的な初動措置

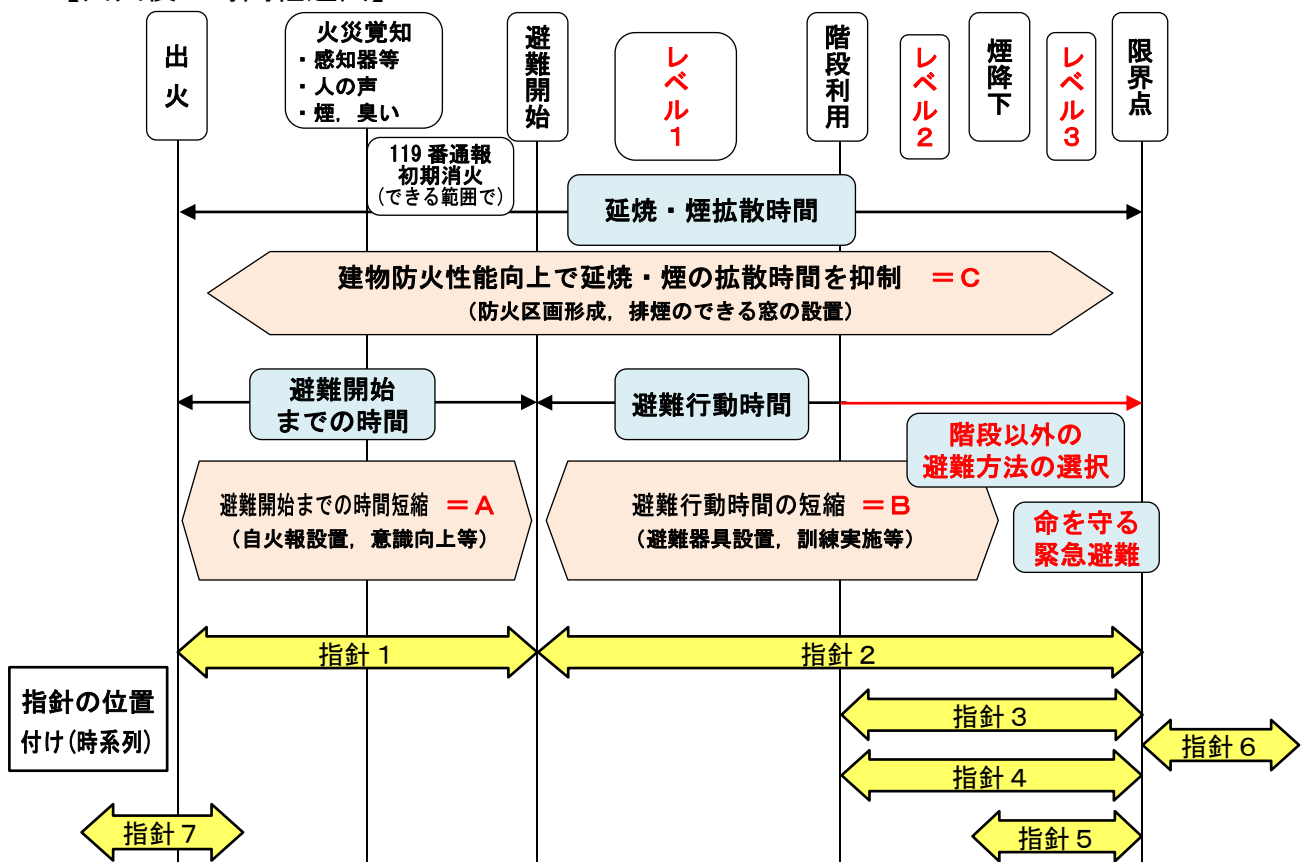
- (1) 119番通報（携帯，固定電話等による通報，火災通報装置による自動通報等）
- (2) 初期消火（簡易消火用具，消火器，屋内消火栓等を用いた消火活動）
- (3) 避難・避難誘導 ⇒ 火災から命を守る避難の指針

6 指針の方向性及び要点

これまでの分析・検証結果から，迅速な避難をするためには，出火から避難開始，そして避難完了までの時間をいかに短くし，また，延焼・煙拡散時間をいかに抑制できるかが重要な要素となる。

- A** 避難開始までの時間を早くする（早く知り，行動を開始する）
- B** 避難行動時間を短くする（状況判断力の向上で迅速な避難）
- C** 延焼・煙拡散時間を抑制する（建物の防火性能向上で，炎，煙の拡散防止）

【出火後の時間経過図】



【火災から命を守る避難の指針】（詳細は次ページ）

- 指針 1 火災を早く知る手段の確保と早期の避難行動の開始
- 指針 2 煙が流入しない安全な避難経路（階段）の確保と冷静な避難行動
- 指針 3 窓，ベランダ等から屋外へ逃れる手段の確保
- 指針 4 煙から逃れ一時的に避難できる場所の確保
- 指針 5 煙や炎に覆われるなど危機的状況下における対策
- 指針 6 避難後の命を守る行動
- 指針 7 放火等防止のための防犯対策の徹底

7 火災から命を守る避難の指針

指針 1 火災を早く知る手段の確保と早期の避難行動の開始	
知恵 1 何らかの異状を感じたら即行動を起こす 知恵 2 とにかく早く避難行動を開始する	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 大きな物音等を聞いたらすぐに確認する等の行動を開始 【レベル 1】 「火事だ！」だけではなく、「消火は無理だ。今すぐ逃げろ！」等の具体的な行動を示す声掛け 【レベル 2, 3】
指針 2 煙が流入しない安全な避難経路（階段）の確保と冷静な避難行動	
知恵 3 自分の火災人命危険レベルを判断 知恵 4 煙を建物の内部に広げず，有効な避難経路（階段）を確保 知恵 5 広がった煙を建物の外部へ逃がす（有効な煙の排出ルートをつくる）	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 屋内階段の防火区画等の形成 ドアクローザ等を設置し，扉が自動的に閉鎖する機能を設ける 階段室の扉等は，避難の際に「開放状態」にしない 【レベル 1～3】 早期に外気に面した窓を開放（排煙の実施） 【レベル 1～3】
指針 3 窓，ベランダ等から屋外へ逃れる手段の確保	
知恵 6 階段で逃げられないことも想定する（ベランダ，窓， ^{ひまし} 庇等を用いた避難）	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 避難はしご等の避難器具の設置 ベランダや窓から地上へのぶら下がり避難（2階に限る） 【レベル 2, 3】 避難に時間が掛かる場合は，分散しての避難 【レベル 2, 3】
指針 4 煙から逃れ一時的に避難できる場所の確保	
知恵 7 建物内に一時避難スペースを設け，消防の救助等を待つ	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 煙から逃れ一時避難できる「一時避難スペース（エスケープエリア）」の設定 一時避難スペース（エスケープエリア）への避難（煙の侵入を防ぐ目張りの実施，外部へ助けを求め，救助待機） 【レベル 2, 3】
指針 5 煙や炎に覆われるなど危機的状況下における対策	
知恵 8 サバイバル方法の習得 知恵 9 人間の行動特性（思考力，判断力の低下）を踏まえた対策	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 着衣着火時のストップ・ドロップ&ロールによる消火 【レベル 3】 視界不良の煙に覆われたときのパニックコントロール 【レベル 3】 （STOP&GOルール¹の習得（Stop 止まり，Think 考え，Observe 観察し，Play(Plan)&Go 行動する） 窓でのサバイバルポジション（窓から上体を出し「くの字」） 【レベル 3】
指針 6 避難後の命を守る行動	
知恵 10 避難後は決して戻らないことを前提とした事後体制の構築	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 全避難者の人数確認，負傷者への応急手当の実施 屋外から避難者への支援（救助，消火等）を可能な限り行う
指針 7 放火等防止のための防犯対策の徹底	
知恵 11 放火等による出火防止の体制づくり	
主な 対策	<ul style="list-style-type: none"> 不審者の侵入を防ぐ（施錠管理の徹底，警備員の配置） 放火行為等の防御を行う余裕がない場合の早期避難

8 指針の指導・周知方法について

- 事業所へは，査察や事業所訓練指導等の機会において，所有者，管理者，従業員等を対象に，リーフレット，動画等の広報媒体を用いて指導し，実践的な訓練を行う。
- 市民へは，イベント，市民防災センター等，あらゆる機会を通じて周知する。